

<平成 26 年度>

公共施設部の取り組み実績

施設整備室
重点施設建設準備課

■ 基本方針 ■

公共施設部は、市民の共有財産である公共施設としての品格性、快適性、機能性、安全・信頼性及び利用者満足度の向上に向けた効果的かつ効率的な建設、並びに維持保全の推進に取り組んでいます。

平成 26 年度は、投資的事業である新病院、新学校給食共同調理場及び新消防本部庁舎等の公共施設の整備を計画どおりに進めるとともに、市有建築物の長寿命化を図るための計画的保全と公共施設の耐震性を確保する耐震化工事を計画に沿って着実に進めます。

I 重点施策・事業

◆市有建築物の計画的な保全

市有建築物を適正に維持保全するため、「市有建築物保全計画」に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、計画的に改修・更新工事を進めます。

【平成 26 年度工事実施予定】

- 小中学校以外の施設・・・47 施設
- 小中学校・・・42 施設

実績

- ・市有建築物の適正な維持保全を図るため、保全計画に基づき、関係部署と調整を図りつつ、予定した改修・更新工事を着実に進めた。また、早急な対応の必要性が判明した施設について、予定に加え工事を実施した。

◆市有建築物の耐震化

公共施設の安全に対する信頼性の向上に向け、「市有建築物耐震化実施計画」に基づき、幼稚園や保育所など市民利用施設の耐震化を進めます。

【平成 26 年度実施予定】

- 耐震診断を実施する施設・・・2 施設
- 耐震設計を実施する施設・・・1 施設
- 耐震改修を実施する施設・・・8 施設

実績

- ・市有建築物耐震化実施計画に基づき、市民利用施設の耐震診断と設計とともに改修工事を実施し、予定通り耐震化を着実に進めた。

◆新病院整備事業

二次救急機能や災害時の対応機能を有する「市立ひらかた病院」の整備工事を、今年度秋の開院に向け円滑に施行推進します。開院後は、現病院の解体工事に着手します。

実績

- ・平成 26 年 9 月 22 日に新病院の開院を実現した。引続いて、旧病院解体工事に着手し、平成 27 年 10 月 30 日の完了を目指して適切に進行管理を行った。

◆新学校給食共同調理場の整備

平成 28 年度の中学校給食の実施と小学校給食共同調理場の老朽化に対応するため、新学校給食共同調理場の整備工事に着手します。

実績

- ・平成 28 年 4 月からの運用開始に向け、平成 26 年 10 月より工事に着手した。平成 27 年 11 月末の完成を目指し適切に工事を進めた。

◆新消防本部庁舎整備事業

デジタル化消防救急無線や最新の消防情報システムを備えた新消防本部庁舎を、平成27年度供用開始に向け円滑に整備工事を進めます。

実績

- 平成27年7月からの運用開始に向け、関係部署と調整を図りながら6月の完成を目指し工事を進めた。また、性能偽装があった免振装置の早期交換に向け対策を進めた。

◆総合福祉センターのリニューアル

平成27年4月のリニューアルオープンに向けて老朽化対策やバリアフリー化などの改修工事を実施します。

実績

- エレベータの設置や内装改修などのリニューアル工事を、平成26年6月より着手し平成27年2月に予定通り完了した。

◆総合文化施設の整備

文化芸術活動の新たな拠点となる総合文化施設について、技術的な視点から施設整備を推進します。

実績

- 先進的な施設の視察調査を行うとともに、関係部署と連携を図りながら、平成27年度から実施する施設の設計に向け、設計事業者をプロポーザルにより選定した。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
14. 市域全体の建築物の耐震性向上(市有建築物の耐震性向上)	平成27年度末までに耐震化率を90%以上にす る。(平成25年度末の市 有建築物耐震化率は 92.5%となり目標は達成 したが、さらに市有建築物 耐震化実施計画に基づき 取り組む。)

実績

- 耐震診断及び同診断結果に応じ、幼稚園、保育所等8施設の耐震補強工事に取り組んだ。これにより耐震性を有していることを確認できた施設を含め、平成26年度末の市有建築物耐震化率は97.6%となり、その他計画等に対応する施設を除き、ほぼ耐震化を完了した。

改革課題	取り組み内容・目標
20. 市有建築物の計画的な保全	財政負担の平準化を図り ながら計画的に改修・更新 工事を進める。

実績

- 市有建築物保全計画に基づき、市有施設(小中学校を除く)47施設、小中学校43施設の改修・更新工事を実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市有施設の環境整備業務 については、緊急及び機動 力が求められることを踏 まえ、配置基準を検討す る。

実績

- 配置基準の検討のため、関係部署と課題等について共有を進めるなど、集約に向けた取り組みを行った。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
学校園施設維持補修事業	緊急性や安全性を最優先とした整備に努めるとともに、市有建築物保全計画に基づく予防保全を進める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急性や安全確保のための改修及び修繕を最優先に実施するとともに、別途事業や新たな計画検討との整合等により調整を要した施設を除き、計画に基づき工事を実施した。 	

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市有建築物の計画的保全に係る効率的実施手法の構築	効率的・効果的な執行を図るため、先進事例の調査・研究を進める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市有施設の老朽化した空調設備、照明などの保全にあたり、効率・効果的な事業執行が期待できる ESCO（Energy Service Company）事業をはじめ、先進事例となる大阪府などの取組み事例について調査・研究を進めた。 	

テーマ	取り組み内容・目標
公共工事の品質確保	設計図書で定める品質及び性能を施工の各段階で確認し、品質の確保及び向上を図る。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事施工にあたり、各担当者が設計図や仕様書に基づき、適切に工事实施状況の確認を行うとともに、工事材料の試験及び検査に立会い、品質の確保及び向上に努めた。 	

テーマ	取り組み内容・目標
施設利用者満足度の調査	施設の品質評価の最も重要な要因である利用者の満足度を評価するため、利用者満足度調査に取り組む。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市有施設の品質向上に繋げていくため、施設を利用する市民等の声を聞く機会の多い、施設所管職員に対し、利用者満足度調査を実施した。 	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆公共施設の整備にあたっては、社会情勢を踏まえた事業費の把握に努めます。また、国等の動向を注視し、現行の国庫補助制度はもとより、新たに創設される補助制度の積極的な活用に努めます。

実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の動向を注視しながら、文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を確保し、平成26年度事業への国費の積極的な活用に努めた。
--

- ◆公共施設の設計時には、品質を下げずにコストを下げる、あるいはコストを上げずに品質を向上させる設計VEの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の設計に際し、工法や使用する材料について比較検討を行い、品質向上を考慮しつつコスト削減に努めた。
--

- ◆公共施設としての品格性、快適性、機能性、安全・信頼性及び市民の利用者満足度の向上など、施設整備に係る費用対効果の向上に努めます。

実績

- ・専門的な知識が要求される総合文化施設の設計に向け、設計事業者の創造力と技術力、そして経験と実績を活かした質の高い設計により費用対効果の向上に繋げるため、本市の建設事業で初の試みとなるプロポーザル方式を採用し設計事業者を選定した。

- ◆省エネルギー化など施設のライフサイクルコストを考慮した施設整備に努めます。

実績

- ・各設備の整備に際し、省エネルギー面で有用な LED 照明の採用や節水型の衛生器具を使用するなどライフサイクルコストを考慮し整備に努めた。

IV 組織運営・人材育成

- ◆部内全職員が部の運営方針に掲げた取り組み目標や課題を共有し、達成に向けて一丸となって取り組みます。

実績

- ・部内全員が目標に向けて取り組むため、朝礼やミーティングなどを通じて、目標や課題の部内共有化に取り組んだ。

- ◆学校園の改修工事が集中する夏休み期間中など、工事繁忙期には、部内組織を柔軟かつ横断的に組織し、部内全職員が一丸となって取り組みます。

実績

- ・年間を通して、部内組織を柔軟かつ横断的に運用し、平成26年度工事を予定通り円滑に実施した。

- ◆職場内におけるきめ細かな OJT の実施により、業務遂行上必要となる専門知識や技術等の向上と育成に努めます。

実績

- ・新入職員や若手職員等への、先輩職員の積極的な指導により、専門知識の習得や技術等の向上と育成に努めた。

- ◆国土交通省所管の国土交通大学校や（財）全国建設研修センター等の研修を積極的に活用し、公共施設の品質向上や業務を効率的かつ的確に実施する業務生産性の向上に加え、新しい行政ニーズにも的確に対応できる人材の育成に努めます。

実績

- ・積極的な研修参加により、技術職員の知識、技術向上に努めた。（（財）全国建設研修センター コアパーソン育成派遣研修へ3名派遣）

V 広報・情報発信

- ◆市有建築物の耐震化状況の公表

耐震診断の結果及び耐震補強工事の実施状況をホームページ上で公表します。

実績

- ・耐震補強工事等の実施状況を、安全・安心情報として例年通りホームページ上に公表した。

- ◆工事施工状況等の情報発信

多くの市民が利用される施設など、関心度の高い施設の施工状況等をホームページや広報を通じてお知らせします。

実績

- ・新病院建設の状況について開院まで概ね1ヶ月毎にホームページ上に掲載した。また、市有建築物保全等に係る改修工事について例年通りその実施状況について発信した。